

玄海原子力発電所 3・4号機の再稼働に関する意見

(この用紙は、県政提案箱へご投函ください。)

* なお、ご記入の前に裏面の〈お願い〉をお読みください。

テーマ	★該当する項目をチェックしてください(複数選択可)。 <input type="checkbox"/> エネルギー政策に関すること <input type="checkbox"/> 原子力安全対策に関すること <input type="checkbox"/> 原子力災害対策に関すること <input type="checkbox"/> その他
2011年の東北大震災後、全国の原子力発電所は稼働を停止しました。一時的に計画停電などが実施されましたが、原子力発電所に頼らずとも電力は足りてきました。真夏のクーラーの使用が、電力の供給を超えるのではと心配されたニュースが、遠い過去の出来事となりました。	
6年間に、太陽光発電用のパネルがいたるところに設置されました。空き地にも、山あいにも、小規模なものからりっぱな発電施設と呼べるような大規模なものまで。LEDが普及し、消費する側にも工夫が生まれました。	
変わらないのは、電力会社と政府です。電力会社は発電コストが安いとの理由で再稼働を急いでいます。政府もCO2の排出が少ないなど環境対策を叫んでいます。	
原発のコストは安いのでしょうか。福島を剥ぎ取るのにどれだけの税金が使われたのでしょうか、電力会社の生命維持装置にこれからどれだけの税金が注がれるのでしょうか。	
降りそそぐ放射能より恐ろしい環境破壊はありません。	
原発が未来永劫事故を起こさないと誰が断言できるのでしょうか。議員や首長は、自身の任期中には事故は起きないと判断しているに過ぎません。原発から出る放射性廃棄物は、会うことのできない100年後の子孫がきつとうまく処理してくれるだろうという楽観に支配されているのでしょうか。	
原子力発電所の再稼働はやめるべきです。事故を起こさぬうちに廃炉を進め、原子力に頼らないエネルギーの開発に政府は舵を切るべきです。	



この県政提案箱は、職員が毎日投函の有無を確認しています。

0407h0002